

太良

News・from・the・Assembly
議会だより



太良町議会のホームページ

令和4年度一般会計予算

81億200万円

contents 3月定例会

- 3月定例会議案審議 ……………2~5P
- 1月臨時会審議結果 ……………5P
- 予算審議Q&A ……………6P
- 一般質問 ……………7~11P
- 補正予算Q&A ……………12P
- 調査報告等 ……………12~15P
- 議会の主な活動 ……………16P

発行／太良町議会 編集／議会広報編集特別委員会
〒849-1698 佐賀県藤津郡太良町大字多良1番地6
TEL 0954-67-2151

<https://www.town.tara.lg.jp/>

議会の情報がインターネットで見られます。
太良町役場のホームページにアクセスし、議会情報をクリックしてください。



No.164

令和4(2022)年4月22日発行
初版発行／昭和56年8月1日

【伊福地区の菜の花】

令和4年度予算決まる

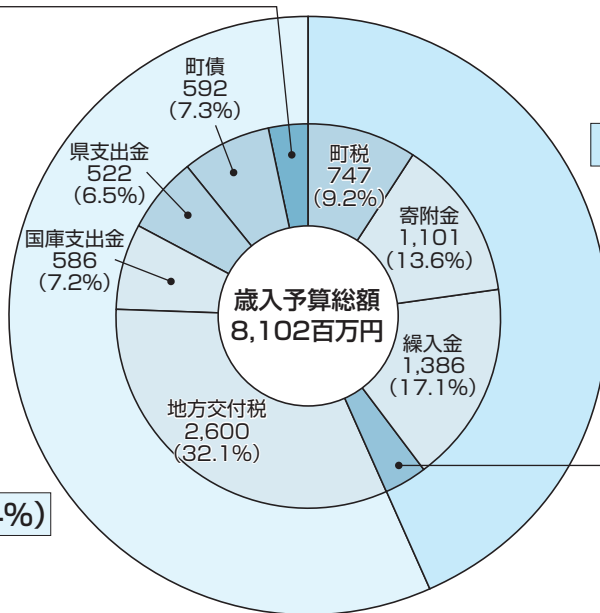
予算総額 一般会計・・・81億200万円

歳入予算

(単位:百万円)

その他依存財源 269(3.3%)

- 地方譲与税 ……71(0.9%)
- 利子割交付金 ……1(0.0%)
- 配当割交付金 ……2(0.0%)
- 株式等譲渡所得割交付金 2(0.0%)
- 法人事業税交付金 ……7(0.1%)
- 地方消費税交付金 ……179(2.2%)
- 環境性能割交付金 ……4(0.1%)
- 地方特例交付金 ……2(0.0%)
- 交通安全対策特別交付金 1(0.0%)



自主財源 3,533(43.6%)

その他自主財源 299(3.7%)

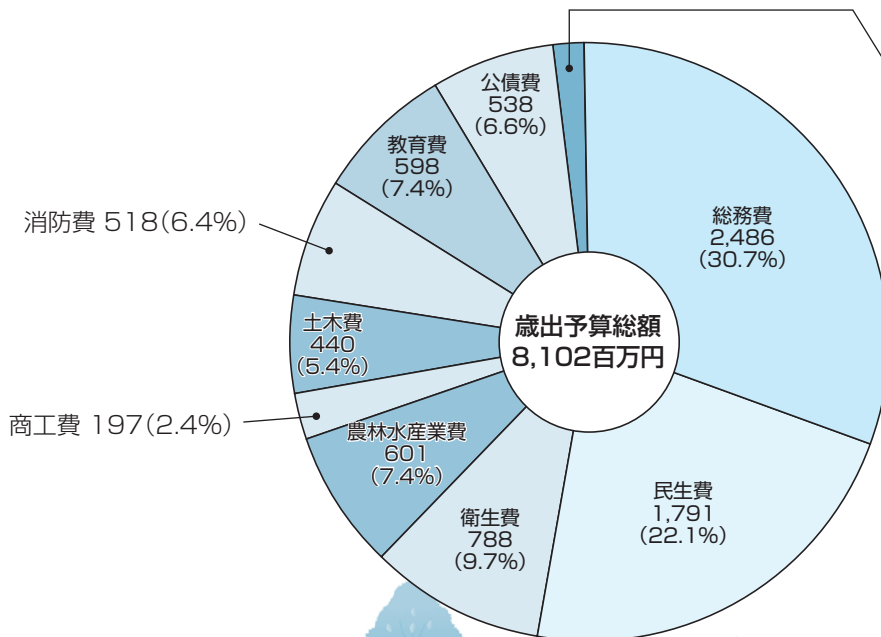
- 分担金・負担金 ……25(0.3%)
- 使用料・手数料 ……78(1.0%)
- 財産収入 ……18(0.2%)
- 繰越金 ……30(0.4%)
- 諸収入 ……148(1.8%)

依存財源 4,569(56.4%)

※構成比 (%) は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100にならないことがあります。

歳出予算

(単位:百万円)



その他 145(1.9%)

- 議会費 ……86(1.1%)
- 労働費 ……0(0.0%)
- 災害復旧費 ……38(0.5%)
- 予備費 ……20(0.3%)



3月定例会 会期/3月4日~16日(13日間)

令和4年度当初予算

※万円未満は切捨てています。

会計名	予算額	前年度比
太良町一般会計	81億200万円	6.8%
太良町後期高齢者医療特別会計	1億5,300万円	9.3%
太良町国民健康保険特別会計	14億1,200万円	0.5%
太良町漁業集落排水特別会計	4,610万円	—
太良町簡易水道特別会計	1億4,400万円	—
太良町水道事業会計	7,350万円	△1.2%
町立太良病院事業会計	17億76万円	9.8%
総計	116億3,136万円	6.3%

令和4年度 一般会計の主な事業 ※主要事業説明より抜粋

ペーパーレス会議システム導入事業(議会運営の効率化、事務の軽減のための事業)	637万円
ふるさと応援寄附金事業(ふるさと応援寄附に対する謝礼等)	6億4,548万円
コミュニティバス運営事業(コミュニティバス運行のための関連経費)	2,399万円
移住定住促進事業補助金(町内への移住・定住を図るための住居の改修等費用助成)	600万円
ケーブルテレビ施設光化整備事業費補助金(ケーブルテレビ施設の光化に対する補助金)	4,340万円
介護施設等整備事業(グループホームの開設に伴う経費の助成)	4,115万円
総合福祉センター改修事業(福祉棟)(施設の老朽化対策)	5,517万円
総合福祉センター改修事業(保健棟)(施設の老朽化対策)	971万円
地域支援事業(高齢者に対する介護予防等総合的な支援に対する経費)	7,215万円
新型コロナウイルスワクチン接種事業(ワクチンの追加接種等に要する経費)	3,289万円
家庭用合併処理浄化槽設置整備事業費補助金(5人槽10基、7人槽10基)	1,096万円
さが園芸生産888億円推進事業費補助金(根域制限栽培施設等の整備に対する補助)	6,292万円
広域農道舗装補修事業(舗装構造調査業務委託料、路面舗装407m)	3,790万円
農地基盤整備事業費補助金(畑の基盤整備535a、水田の畦畔整備1,125m)	2,500万円
観光客誘客事業補助金(町内への宿泊や消費喚起を促すための事業に対する補助)	3,670万円
防災行政無線整備事業(戸別受信機配備等の防災行政無線整備事業)	2億9,000万円
補助教材支給事業(家庭の経済的負担軽減のため小学校及び中学校の補助教材支給事業)	735万円
入学・卒業祝金(小学校等入学時及び中学校卒業時に祝金を贈る事業)	420万円
国民スポーツ大会推進費(令和6年開催予定の国民スポーツ大会佐賀大会に向けた準備室の運営経費)	2,361万円
B&G運動広場周辺整備事業(国民スポーツ大会佐賀大会の会場となるB&G運動広場周辺整備に係る経費)	3,008万円

令和3年度 補正後予算総額(一般会計) 82億9,547万6千円

補正額 △1億8,249万3千円

主な増額補正

ふるさと応援寄附金事業 謝礼(寄附金の減)	△15,000万円
ふるさと応援寄附金基金積立金(寄附金の減)	△5,000万円
障害者自立支援給付費(実績による減)	△2,229万円
各種健(検)診委託料(実績による減)	△540万円
定期予防接種委託料(実績による減)	△555万円
営農再開・草勢樹勢回復等被害対策事業費補助金(令和3年8月豪雨により被害を受けた農家の営農再開や、被災作物の草勢・樹勢の回復等に対する県補助金)	703万円
農地基盤整備事業費補助金(実績による減)	△1,450万円

3月定例会審議結果

3月定例会は、条例議案2件、事件議案2件、補正予算7件及び新年度予算7件の計18件が町長より、請願1件、意見書2件が議会より提案されました。審議結果は次のとおりです。

議員別賛否結果													
議案番号	件名と主な内容(件名及び内容は一部省略しています)	1	2	3	5	6	7	8	9	10	11	議長	議席番号
		山口 一生	西田 辰実	松崎 近	待永 るい子	竹下 泰信	田川 浩	江口 孝二	所賀 廣	川下 武則	久保 繁幸	坂口 久信	議長
第9号	令和3年度太良町一般会計補正予算(第13号) ふるさと応援寄附基金積立金等1億8,249万3千円を減額補正し、補正後の予算総額82億9,547万6千円とするもの。	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決

賛成 = ○ 反対 = × 欠席 = 欠 退席 = 退 ※議長は採決に加わらない。

討 論

議案第9号 令和3年度太良町一般会計補正予算(第13号)について

【反対討論 山口 一生議員】

一般会計補正予算に反対する。5歳から11歳の新型コロナワクチン接種について、第一にオミクロン株への効果が不明であること。第二に中長期のリスクが不明であること。治験中のワクチンであること。製薬会社ファイザーがこちらの責任から免責されていることを踏まえて、メリットとデメリットが釣り合っていないと考える。接種券の希望者のみへの配布などに切り替えを提案するとともに反対する。

【賛成討論 田川 浩議員】

一般会計補正予算に賛成する。新型コロナワクチン接種については選択権が与えられている。また、目立って住民に不都合があるような事実も今までにないということにおいて、この補正予算案に総論賛成する。

全会一致の議案等

議案番号	件名と主な内容(件名及び内容は一部省略しています)	議決結果
第5号	太良町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定 非常勤職員の育児休業等の取得要件を緩和するとともに、職員が育児休業等を取得しやすい勤務環境の整備に関する措置を講じる等のための条例の一部改正	可決
第6号	太良町公告式条例等の一部を改正する条例の制定 太良町が法令等に基づいて実施する行政手続きについて、書面規制、押印、対面規制の見直しを行い、行政サービスの効率的・効果的な提供に資するものとして取り組むための条例の一部改正	可決
第7号	令和3年度山村強靱化林道整備事業林道橋梁補修工事(多良岳橋)請負変更契約の締結 補修工事内容の変更により、請負金額を619万6,300円増額するもの。	可決
第8号	太良町農林漁業振興資金の融通に伴う事業の指定及び融資額の限度 農林漁業資金の融資限度額及び事業指定を行うもの。	可決
第10号	令和3年度太良町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 後期高齢者医療広域連合納付金等の補正。	可決
第11号	令和3年度太良町国民健康保険特別会計補正予算(第4号) 特定検診・保健指導従事者報償金等3,201万7千円を減額補正し、補正後の予算総額14億6,201万3千円とするもの。	可決
第12号	令和3年度太良町漁業集落排水特別会計補正予算(第4号) 施設整備事業費等270万2千円を減額補正し、補正後の予算総額4,609万5千円とするもの。	可決
第13号	令和3年度太良町簡易水道特別会計補正予算(第4号) 水道施設改良事業費等1,206万3千円を減額補正し、補正後の予算総額1億2,962万円とするもの。	可決
第14号	令和3年度太良町水道事業会計補正予算(第4号) 上水道施設漏水調査業務委託料等54万4千円を減額補正し、補正後の予算総額7,385万6千円とするもの。	可決

全会一致の議案等		
議案番号	件名と主な内容(件名及び内容は一部省略しています)	議決結果
第15号	令和3年度町立太良病院事業会計補正予算(第2号) 新型コロナウイルス感染症対応医療供給体制強化緊急補助金等5,173万7千円を増額補正し、補正後の予算総額16億7,886万4千円とするもの。	可決
第16号	令和4年度太良町一般会計予算 予算総額81億200万円(対前年比6.8%増)とするもの。	可決
第17号	令和4年度太良町後期高齢者医療特別会計予算 予算総額1億5,300万円(対前年比9.3%増)とするもの。	可決
第18号	令和4年度太良町国民健康保険特別会計予算 予算総額14億1,200万円(対前年比0.5%増)とするもの。	可決
第19号	令和4年度太良町漁業集落排水特別会計予算 予算総額4,610万円(対前年比同率)とするもの。	可決
第20号	令和4年度太良町簡易水道特別会計予算 予算総額1億4,400万円(対前年比同率)とするもの。	可決
第21号	令和4年度太良町水道事業会計予算 予算総額7,350円(対前年比1.2%減)とするもの。	可決
第22号	令和4年度町立太良病院事業会計予算 予算総額17億76万1千円(対前年比9.8%増)とするもの。	可決
請願 第1号	太良町議会の議員定数削減に関する請願 町議会議員の定数を、11名から8名へ削減することについて審議することという請願に対し、議員定数に関する特別委員会を設置し、審議することを決定。	継続 審査
意見書 第1号	子どもの医療費助成の拡充を求める意見書 要望の趣旨に沿い、県に意見書を提出するもの。 提出先 佐賀県知事	可決
意見書 第2号	有明海再生の対策と赤潮被害への支援を求める意見書 要望の趣旨に沿い、国に意見書を提出するもの。 提出先 内閣総理大臣、内閣官房長官、農林水産大臣、環境大臣、財務大臣、衆議院議長、参議院議長	可決

1月臨時会審議結果

1月臨時会は、専決の承認1件、事件議案2件及び補正予算1件の計4件が町長より提案されました。審議結果は次のとおりです。

全会一致の議案等		
議案番号	件名と主な内容(件名及び内容は一部省略しています)	議決結果
第1号	専決処分事項の承認を求めることについて 令和3年度太良町一般会計補正予算(第11号) 新型コロナウイルス対応の経済対策で実施される、子育て世帯への臨時特別給付金の経費5,645万6千円を増額し、補正後の予算総額83億5,085万5千円とするもの。	承認
第2号	2年災47-101号 御手水地区災害復旧工事の請負契約の締結について 契約金額85,800,000円 契約の相手方 株式会社 川武潜水興業	可決
第3号	財産の取得について 新型コロナウイルス感染防止対策として、人との接触を低減するためのWEB会議用ノート型パソコン等の購入費用。購入金額8,894,380円 契約の相手方 株式会社佐賀電算センター	可決
第4号	令和3年度太良町一般会計補正予算(第12号) 新型コロナウイルス対応の経済対策で実施される、住民税非課税世帯等への臨時特別給付金等の経費1億2,711万4千円を増額し、補正後の予算総額84億7,796万9千円とするもの。	可決

令和4年3月議会 予算審議 Q&A



Q 生活交通路線維持費補助金(祐徳バス路線)は3,091万円で対前年比478万円の増加となっている、この理由は。

A 欠損額の増加を見込んでおり、R3年度は148.5万円/km、R4年度は175.7万円/kmで、運行距離は17.6kmとして試算し、合計額を鹿島市と按分している。

Q 総務管理費の交通安全施設整備事業の工事請負費が1,000万円計上されている。この内容はどうなっているのか。

A ガードレール、カーブミラーなどの設置費用や維持、管理費である。

Q 家庭用合併処理浄化槽設置整備事業補助金が1,096万円計上されているが、設置数はいくらか。

A 設置数は5人槽、7人槽それぞれ10基で、推進強化を図るため5人槽で15万円、7人槽で20万円の上乗せ補助を予定している。なお、希望件数が多くなったら、補正予算で増額することとしたい。

Q 新規事業で社会福祉費の総合福祉保健センター改修事業として6,488万円計上されているが、具体的内容はどうなっているか。

A 熱源の更新、照明器取替(LED)、男女脱衣室の整備、タイルカーペットの張替え等である。

Q 油津児童遊園地遊具撤去工事費として679万円が計上されている。具体的内容と跡地利用はどのようにするのか。

A 築山、見張台、砂場など老朽化した遊具の撤去費用である。なお、跡地利用については検討委員会で協議して有効活用したい。

Q 特産地づくり推進費として300万円計上されているが、具体的な事業内容はどうなっているのか。

A 田古里地区の水田にトレーニングファームとして、キュウリハウスと管理棟を建設予定で町負担分である。実施主体はJAで事業費は1億2,033万円、面積は2,000㎡となっている。

Q 教育振興費の中で新規事業として、家庭の経済的負担軽減のため小、中学校の全生徒に補助教材を配布(715.3万円)することになっている。どのような教材を配布するのか。

A 教育支援の充実のため、学習ノートやドリルの配布を予定している。小、中学生1人あたりは、それぞれ7,623円、20,759円となる。

Q 商工費の観光費の中で、道の駅たらドッグラン設置工事費として374万円計上されているが、内容はどうなっているか。

A 道の駅たらの北側、鹿島寄りの芝生に約160mをフェンスで囲い、リードポールを2箇所、入り口門扉を1箇所設置する。面積は約350㎡で、清掃等維持管理は観光協会に委託する。

一般質問

待永るい子議員

消防団の処遇改善を!!

答▽国の財政措置を確認し検討したい

ふるさと納税

議員 ふるさと納税事業者の選定委員を外部から入れる計画はないのか。

財政課長 総務省からの通知に合致しているかの審議内容なので現段階では考えていない。



画に記されている公園の整備や満足度についての施策は進んでいるのか。

町民福祉課長 今の所目標値に対する対策は進んでいない。

議員 お金と時間をかけて作成した総合計画の意味がないのでは。

町民福祉課長 優先施策は他の子育て支援施策のほうに重点を置いている。

議員 遊びを通して子供達の豊かな感性を磨くための場所づくりを担当課はどのように考えるのか。

町民福祉課長 限られた財源と政策の優先順位からなかなか先に進めない状況である。

議員 子供達の健やかな成長の為にぜひ、公園整備を考えて頂きたい。

消防団の処遇改善

議員 県からの消防団支援交付金はどうなっているのか。

総務課長 令和4年度のみ県の単独事業である。

議員 国からの交付金としては具体的に金額が決まっているのか。

総務課長 令和4年度から地方財政措置について見直しが行われるので現段階では決まっていない。

議員 消防団支援に関する金額を改定していく考えはあるのか。

総務課長 国の標準額や近隣市町の状況も考慮しながら改善されるべきだと考えながら検討していきたい。

議員 24時間いつ出勤するか想像もつかない中で出勤手当も増やす必要があると考えるが。

総務課長 今のところは遜色ない金額と思う。

議員 今後は出勤した個人への報酬も必要では。

総務課長 消防団幹部と協議し検討していきたい。

議員 消防団の存在がなくて私たちの生活が安心できるとの認識を高め、大いなる処遇改善に取り組むことを強く要望する。



災害復旧支援の様子

公園整備

議員 第五次太良町総合計

一般質問

竹下 泰信 議員

新幹線開業に伴う 利便性の確保など対応はどうか

答▽通学、通勤車両の増結など JR九州、運輸局に要望

議員 九州新幹線西九州ルートが9月に開業するが、高校生等JR利用者の利便性の確保はどうするのか。

町長 山口〜諫早間の運行形態は、これまでどおりJR九州が担い、駅舎や線路等の鉄道施設は、佐賀、長崎両県で設立している「佐賀・長崎鉄道管理センター」で保有、管理。いわゆる上下分離方式による運営が行われる。

町長 本町では、ダイヤ編成や通学、通勤時間帯の車両の増結などJR九州や運輸局に要望し、利便性の確保に務めている。

議員 鉄道管理センターの運営はどのように行われるのか。

町長 両県から2名の職員を派遣、JR九州からは2名の職員が出勤し、施設の維持管理等を行う。

議員 肥前山口〜諫早間の運行形態を確認するが、肥前山口〜肥前浜間は電化区間、



肥前浜〜諫早間はディーゼルカーを運行。特急列車の運行は肥前鹿島まで、肥前鹿島〜諫早間は運行しない、との理解でよいか。

企画商工課長 そのとおりで、特急列車は肥前鹿島まで、それ以南は普通列車のみの運行となる。

議員 2016年に6者協議が行われ、取決め事項の合意がされているが、その内容はどうか。

企画商工課長 並行在来線の運行確認が行われ、開業後の特急列車の運行は3年間は上下14本程度、4年目からは20年間は10本程度、普通列車は現行水準を維持する、とされている。

議員 新幹線の開業により、地域の利便性が損なわれてはならない。

本町では生活の足として、重要な役割を果たしており、利便性確保のため取組みの強化をして頂きたい。

森林環境譲与税の活用状況

議員 森林環境譲与税の譲与額、譲与基準及び用途はどうなっているか。

町長 本町への譲与額はR2年度が876万円、R3年度は807万、R4年度は1,096万円の見込みである。譲与基準は、自治体の私有林の人工林面積、林業就業者数及び人口が基準となっている。

使い途は法令で定められ、森林の整備やこれを担う人材の確保等に充てることになっている。

議員 本町での年度毎の具体的使い途はどうか。

農林水産課長 R2年度は、森林経営管理意向準備業務として360万円、測量備品購入と森林クラウドシステム購入費が300万円、基金繰入が216万円。

R3年度は会計年度職員雇用108万円、森林クラウドシステム利用料13万円残りの686万円は基金繰入見込みである。

議員 この税の使途は、インターネット等で公表することになっているが、どのように行っているのか。

農林水産課長 本町のホームページで公表しているが、必要に応じて、「町報たら」への掲載も検討している。

議員 森林環境譲与税は、森林の間伐や人材育成・担い手確保、木材利用の促進等に充てることになっている。

基金に繰入れることなく、森林整備の財源として有効に活用してもらいたい。



長崎本線を走る特急電車

一般質問

山口 一生 議員

畜産堆肥の町内外での有効利用促進を

答▽現状を関係者と協議し、対策を検討していく

議員 本町における畜産の県内シェアはどれほどか。

町長 採卵鶏は県内43万7千羽。町内4万6千羽で11%。ブロイラーは県内1,592万羽。町内325万羽で20%。豚につきましては、県内5万9,770頭、町内1万7,085頭、30%。乳用牛は県内2,362頭、町内174頭で7%。肉用牛は県内4万8,180頭、町内2,

210頭で5%。

議員 飼料高騰の経営の状況はどれほどで、行政としての支援はあるか。

町長 飼料高騰による畜産経営の影響について、定量的な数字は把握しておりません。行政支援につきましては、飼料価格の急騰時に発動する国の配合飼料価格安定化制度があります。

議員 堆肥の処理にまつわるコストは、鳥、豚、牛でどれほどか。

町長 町内の平均規模で申し上げますと、堆肥化の1トン当たりの処理コストは、5万羽規模の採卵鶏で1,600円。5万羽規模のブロイラーで8,600円。80頭規模の乳牛で2,900円。200頭の母豚規模で2,700

0円程度。
議員 堆肥の年間発生量はどれほどか。

町長 本町での堆肥の年間生産数量は把握できておりません。参考として、家畜排せつ物の発生量としては、県への飼養数の最新の定期報告数量から算出いたしますと、牛1万8千トン、豚3万5千トン、鶏は4万5千トンと、年間合計約9万8千トンが生物の排泄物として発生する計算となる。

議員 堆肥の町内外利用を促進する方策はないか。

町長 現在本町としての方策はありませんが、現在既に耕畜の農家間において、相対での堆肥の活用が行われており、本町としても、そのような畜産系堆肥を地域資源として位置づけし、耕畜連携による活用が最善と考えている。

議員 農業で使用される化成肥料が高騰しているが、堆肥を活用した有機農業推進は可能か。

町長 地域での耕畜連携による堆肥の活用は持続可能な社会づくりとしても重要

になってくると考えております。最近の化成肥料の高騰や、国が推進しているみどりの食料システム戦略の方向を考慮すれば、将来的には堆肥活用による有機農業の推進は必然的な流れだと考えている。

議員 町内流通する堆肥に対して、購入経費の半額補助などは可能か。

農林水産課長 マッチングがうまく出来るのであれば、制度として検討可能。

議員 堆肥の利用促進の為、堆肥の成分分析に対して、支援する事は可能か。

農林水産課長 町内での利用が進むのであれば、支援の検討可能。

5歳-11歳へのワクチン接種について

議員 ワクチンの効果は。

町長 米国で実施された臨床試験の結果によると、新型コロナウイルスに感染歴のない5歳から11歳においては、2回接種後の7日以降の発症予防効果は90%と報告されています。ただし、このデータはオミクロン株が流

行する前のもので、オミクロン株に対する効果を示すデータは十分に得られていない。

議員 3月2日にファイザーが裁判所からの命令で開示した治験文書によると、治験者のうち約3%がワクチンによって死亡しており、その他9ページに及ぶ多種多様な副反応が記録されているが、これを行政は把握しているか。

健康増進課長 ファイザーの文書は未確認です。この5歳から11歳のワクチン接種に限りましては、努力義務が課されておりません。あくまでもこのワクチンは、メリットとデメリットというものがございまして、これをよく保護者がいろいろ説明等を聞かれまして、調べられまして、するかしないかをきちんと御自身と御家族、養育者とよく検討されて、その接種をするかしないかは決めていただくというワクチン接種でございます。そういった疑問点、不安点が保護者のほうにございまして、健康増進課のほうでそういった御質問等、御不安等お受けいたしました。親身になって御相談に応じて対応をやっていきたく。



一般質問

松崎近議員

今後の農業ビジョンは

答▽農地の集積化、後継者問題など対応について

農業行政について

議員 町内に認定農業者は何人認定されていて、補助金はどのくらいか。

町長 1月末現在で134名。認定農業者であることに對しての直接的な補助金はない。

議員 各種農業形態の規模と割合はどうかっているか。

町長 施設園芸は53戸で、経営耕地面積は10.7ヘクタール。畜産農業は牛が32戸、鶏が15戸、豚が8戸。土地利用型農業は水稲が310戸で157ヘクタールの作付け。玉ねぎは49戸で43ヘクタールの作付け。複合型農業は28戸である。

議員 他の自治体では人と農地を有効活用する政策を実施しているようだが、本町ではどのような政策を実施しているのか。

町長 町独自の農地基盤整備事業、親元就農に関する支援政策や新規就農者への農地の斡旋、人・農地プランの実質化に向けた集落での合

意形成のための話し合いなどを行っている。

議員 ハード面に何か問題点はないか。

町長 基盤整備に必要な土地の利用集積に関する耕作予定者や所有者の合意形成の問題がある。

議員 行政はどのようなサポートを実施しているか。

町長 人・農地プランの実質化に向けた話し合いの中で、ハード事業実現に向けた関係者間の合意形成のためサポートを行っている。

議員 農業だけで生活している世帯はどのくらいいるのか。

農林水産課長 センサスデータで記載されている経営体数から168戸と考えられる。

議員 今後の農業ビジョンについてどう考えるか。

町長 まず、農地基盤整備事業など町が助成をしながら、

農地の集積化を進めていきたい。後継者の支援事業も国の制度に要件が合わない場合は、町単独でも行うという形で行っていききたい。また、行政だけが頑張るだけでなく、例えば農協とか県の機関などにも協力を得ながら取り組んで行かなければならないと考える。

議員 色々な分野のメンバーで農業に関する協議会のようなものを開催し、これからの農業について知恵を絞るようなことをやってもえたらと提案したい。

タララボについて

議員 メリットが何もないのに、なぜ契約を継続するのか。

町長 現在タララボはふるさと納税の返礼品を提供してもらっており、昨秋からは不定期ながら直売所をオープンするなど徐々に経営改善に向けた取り組みが行われている。メリットは少ないながらも、今後への期待を込めて協定を継続している。



一般質問

江口孝二議員

多良川の氾濫対策は

答▽県計画と併せて橋梁整備を進める

議員 太良町防災マップに記載の危険場所に対する具体的な対策は。

町長 箇所ごとの危険度、実現性、財政的な課題など総合的に判断する。

議員 郷式地区が大雨のたびに危険にさらされている原因は何か。

ものだ。これまでの経緯を考慮し前向きな答弁を。

副町長 地元と最善の方法を話し合い施工に入りたい。

議員 令和2年豪雨の河川氾濫による被害は、家屋被害だけでも古賀、栄町地区で50軒以上に上った。河川の氾濫の恐れがある大雨特別警報について、町独自の発表基準の考えは。

総務課長 気象台が発表する警報を参考にする。

議員 はぐくれテレビの防災カメラは、糸岐川も多良川も川上神社の横も、夜は全く見えない。

総務課長 業者に要望したい。

議員 水位計を設置すれば、氾濫状況が分かると思うが。

総務課長 できるだけ検討していきたい。

議員 県への要望は。

建設課長 2月4日に杵藤

土木事務所に町長と出向き、副所長に多良川の護岸かさ上げ、河道掘削等の河川整備について要望した。

議員 土砂や流石は、有明海まで来ている。糸岐川のみお筋は、船の旋回が自由にできない状態なので対応してほしい。

昨年9月の決算委員会で多良橋については、改良等も含めて検討するとの町長答弁があったが。

建設課長 県において護岸のかさ上げが検討されており、調査設計が令和4年度に行われると聞いている。県の計画の方向性が決まった時点で町も対応したい。

議員 災害後に、土砂、石等は、両サイドに広げられており、護岸の高さが短くなっている。ある程度堆積したら、浚渫を考えてもらうように県へ要望して欲しい。1月5日に、栄町、古賀、畑田区長より、多良橋1号の対策改良と古賀橋から下流の越水対策について要望書が提出されていると思うが。

建設課長 県と一体となって進めていきたい。

議員 今後、気候変動による災害増加が危惧されるため、早急な対応をお願いしたい。



商工会館横の多良橋1号の様子

令和3年度 補正予算など Q&A

(議案第7号)

- Q** 多良岳橋の補修工事で請負額が増額になっているがその理由は。
A 平成29年度の設計をもとに発注していたが、その後ひび割れなどが増えていたため。

(議案第9号)

- Q** 防災行政無線整備事業で3,200万円増額になっている。監視カメラ3台導入の理由と活用方法は。
A 多良川の越水対策で現場確認手段として導入することにした。被害状況をカメラで撮影し、データを役場のサーバーに蓄積しそれをもとに避難情報の発令に反映させる。持ち運べるタイプなので、そのほかの場所への活用も検討する。

(議案第9号)

- Q** 成人式参加のためのPCR検査率が低くなっているが、参加条件とセットにするようなことも必要ではないか。
A 昨年11月、12月は県内での感染率が低かったのも要因と思われる。これからは抗原検査も含めて、検査率を上げるような取り組みを検討したい。

(議案第9号)

- Q** マイナンバーカードが健康保険証の代わりになるとのことだが、現状は。
A 町立太良病院はすでに対応しているが、民間はまだである。各個人でマイナンバーカードと健康保険証をひもづけてもらうことが必要になる。

ノリ不作対策を県へ要望

太良町、鹿島市、白石町議会は、県西南部の有明海で養殖ノリの不作が深刻化していることから、山口県知事に支援に関する要望書を提出した。

救済措置や海況異変の究明を求めている。



全国町村議会議長会表彰

全国町村議会議長会から自治功労者として議員15年以上の方に表彰が行われ、太良町議会の川下武則議員が受けられました。



議員定数に関する 特別委員会を設置しました

昨年12月に区長会から提出された「太良町議会の定数削減に関する請願書」を審議するため、3月議会で全議員による「議員定数に関する特別委員会」を設置しました。

委員長に川下武則議員、副委員長に竹下泰信議員を選出し、3月8日に第1回目の委員会を開催し、以下のことを決めました。

- 結論を今年12月議会までに出すこと。
- 調査などを含み、月1回程度の委員会を開催すること。

太良町議会議員定数の推移



区長会からの請願書(全文)

太良町議会の議員定数削減に関する請願書

(趣旨)

少子高齢化時代を迎え、当町の人口も最盛期の2分の1まで減少しています。これに伴い町議会の定数も順次削減され、現在は11名となっています。申すまでもなく町議会は、町民の多様なニーズをくみ取り、行政施策として反映させるとともに執行機関のチェック機能としての役割を持っています。しかし、現状の町議会には、町民の付託に十分応えているとは言えないものがあります。

また、当然ながら町的意思決定機関である議会の定数を人口数が多い、少ないを議論することはできませんが、人口9,000人を切った現在、無投票となった議員選挙などを考慮し、町民の中からも議員数が多いのではないかとの声が、区長のもとに少なからず寄せられているのも事実です。

今後、益々人口減少が見込まれる当町において、議員の定数議論を行っていただくことにより、議会の活性化につながると考え請願書を提出するものです。

この定数減の請願が若年層及び女性の参画を難しくすること、また、安易に定数を減らすことより、議員の資質を高め、町民の意見をどのように反映させるかの議論がなによりも大事であることは十分認識しています。しかし、今後の町行政財政等を長期的に展望する場合、議員定数の削減は避けて通れない課題だと考えられます。

したがって、下記事項について当町議員が十分に議論されることを区長会としてお願いします。

(請願事項)

1. 町議会議員の定数を11名から8名へ削減することについて審議すること。



第1回特別委員会開催の様子

ふるさと納税について

～総務常任委員会所管事務調査～

【期間:令和4年2月1日】

視察先及び視察事項

太良町ふるさと納税担当課、
ふるさと納税事業者(いちご)視察

現状・課題など

- ・今年は寄付が前年対比で減っている(11億→9億)
- ・総務省の定める経費50%ルールへの対応が年々厳しくなっている
- ・寄付者は関東など遠方からが多く、送料が経費を圧迫している
- ・みかん、牛肉、ハムなどが人気の返礼品



協力事業者のいちご農家を視察

提言

- ・返礼品提供事業所の選定委員会のメンバーを民間等から採用してはどうか
- ・ポータルサイトは、ふるさとチョイスだけでなく他にも広げてはどうか
- ・燃料費の高騰など、経費が増加している。寄付額の設定を見直してはどうか

多良岳材のブランド化をめざして

～経済建設常任委員会所管事務調査～

【期間:令和4年2月2日】

視察先及び視察事項

太良町森林組合「林業の振興について」

現状・課題など

- ・木材価格は長期低迷。ウッドショックによる材価高騰も長続きしそうにない。
- ・森林所有者の高齢化により、施業管理はほぼ森林組合に委託されている。
- ・林業従事者も減少の一途で、職員確保も困難な状況にある。
- ・優良材の育成(ブランド化)が必要とされている。
- ・近年は環境保全など災害に強い森林の育成も求められている。



太良町森林組合を視察

取り組み、提言など

- ・技術職員の給与の平準化、月給制の導入など処遇改善が必要。
- ・多良岳材加工施設を活用し、優良材の生産・販売を目指しているが、これから業務執行体制の整備や生産販売体制の確立が急がれる。
- ・大型機械の導入は最小限に抑え、自然に優しい施業を実施している。
- ・町には多良岳材のPRや担い手不足問題などあらゆる角度からの支援が必要。

油津児童遊園地や豊足橋などの現状を調査

～議案調査など～

3月9日、遊具などの撤去が予定されている油津児童遊園地や、架け替えが予定されている豊足橋などを視察しました。



油津児童遊園地



豊足橋(瀬戸一端古賀)

皆様からのご意見

役場庁舎設置の提案箱より(匿名希望)

Q 全国どこの市町村においても議会の活性化が喫緊の課題となっている。

- (1)議会の活性化案を伺いたい。
- (2)現職の町議が10年間に一般質問に立った回数をお伺いしたい。

A (1) 議会活性化については、平成28年3月から29年3月まで、「議会活動の充実・強化及び公開性や透明性を軸とした、町議会に対する市民の信頼向上を図るための方策を検討する。」として議会活性化特別委員会が組織され次の6項目について調査・研究を行い議会の活性化を図っているところです。

- ①本会議のあり方に関すること
- ②常任委員会等の活性化に関すること
- ③市民参加型議会のあり方に関すること
- ④議員の能力向上に関すること
- ⑤広報広聴に関すること
- ⑥その他

(2) 現町議の10年間(平成23年12月から令和3年12月まで)の一般質問回数

山口議員	7/8回、	西田議員	5/8回
松崎議員	5/8回、	坂口議員	6/39回
待永議員	23/24回、	竹下議員	22/24回
田川議員	29/35回、	江口議員	2/39回
所賀議員	13/39回、	川下議員	4/39回
久保議員	11/39回		

議長定期総会



～都市と農山村が共生する持続可能な社会の確立～

2月14日(月)、佐賀市のグランデはがくれにて、山口祥義佐賀県知事外を来賓に迎えて第75回佐賀県町村議会議長会定期総会が開催されました。

基本方針では、新型コロナウイルス感染症の影響で、厳しい財政状況が見込まれるが、地方創生の更なる推進に向けて国・県と連携した取り組みが求められている。

こうした状況を踏まえ、議長会でも各町議会機能の強化及び活動支援に努め、研修、実態調査及び情報提供等を計画的に行い、分権型社会に向けた各種事業を展開することを示された。

また、町村のさらなる振興発展と分権型社会を確立するため、「議会の機能強化及び多様な人材を確保するための環境整備」など19項目の決議が満場一致で採択されました。

議会の主な活動

1月～3月

3月

- 29・有明海西部における赤潮被害への支援に関する県知事への要望活動
- 25・広報編集特別委員会
- 16・議案審議
- 15・議案審議
- 11・議案審議
- 10・議案勉強会
- 9・議案調査
- 8・議会全員協議会
- 8・一般質問
- 4・議会全員協議会
- 4・3月定例議会招集

2月

- 28・議会運営委員会
- 17・全員協議会
- 14・佐賀県町村議会議長会定期総会
- 2・経済建設常任委員会所管事務調査

1月

- 1・総務常任委員会所管事務調査
- 19・議会運営委員会・臨時議会・全員協議会
- 24・市町村議会議員特別セミナー
- 25・市町村議会議員特別セミナー
- 14・議会だより最終校正
- 14・議長会議、議長・局長合同会議、政策研究委員会
- 11・議会広報編集特別委員会
- 4・令和4年成人式

令和4年度（1月～3月分）
議長交際費の支出状況

区分	件数	支出額(円)
祝儀	—	—
会費	—	—
慶弔	1	10,000
贈呈	—	—
謝礼	—	—
その他	—	—
合計	1	10,000

議会クイズ!!

お買物券が当たる!

Q 今年9月23日の長崎新幹線（武雄—長崎間）開通にともない、太良町を走らなくなる特急電車の名前は何でしょう？

A ① とんび ② うみねこ ③ かもめ

解った方は、ハガキに答えを明記し、住所・氏名・電話番号をご記入の上、下記に応募下さい。

〒849-1698 太良町大字多良1-6
太良町議会議務局「議会クイズ係」宛

※締め切り／5月13日(金) 消印有効
※当選者の発表はお買物券の発送(抽選)をもって代えさせていただきます。

みなさん
議会に対する意見
などをどんどんお寄せ
下さい。

編集委員会

委員長 田川 浩
副委員長 竹下 泰信
委員 山口 一生
西田 辰実
松崎 近



編集室より

11年前の3月11日に東北で大きな地震が起きました。津波の惨事でも、あの日、あの時、誰でも忘れられない一瞬の時がありました。一万五千人を越す人命が奪われました。災害が突きつけた教訓を風化させないことが問われています。「3・11」を忘れないで語り継ぐことが大切です。